

世界で活躍の指導者たちから 直接学べる環境。

国際大会で各カテゴリーの代表チームの監督やコーチ、審判員を務めた指導者が多数教員として大阪体育大学に在籍。

国際舞台で得た経験の蓄積は、クラブ活動ではもちろんのこと、普段の授業でも学生に伝えられています。

世界を舞台に活躍した教員と接し、講義を受けることで、きっとたくさんの学びがあるはずです。

剣道世界選手権
女子元監督



かんぎき ひろし
神崎 浩 学長

スポーツ科学部

スポーツ科学科
体育科教育コース

剣道部男女顧問。選手として全日本学生優勝大会、全日本都道府県対抗優勝大会などで優勝。本学監督として全日本学生優勝大会で優勝2回、全日本学生選手権大会で優勝1回。2009年世界選手権は監督として団体と個人を制した。

テニス男子
ユニバーシティゲームズ日本代表総監督



みやち こうたろう
宮地 弘太郎 教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

テニス部男子監督。選手としてインカレ・シングルス優勝2回。1995～1999年まで日本代表(デビスカップ)としてプレー。ユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード)は2005年(トルコ)から男子監督などを務め、2025年(ドイツ)では総監督として男子シングルスをはじめ、6つの金メダルを獲得した。

国際柔道連盟
インターナショナル審判員



まつだ もとこ
松田 基子 教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
アスレティックトレーニングコース

柔道部女子監督。選手として全日本女子選手権などに出場。2001年福岡国際女子柔道選手権で初めて国際大会の審判員を務める。以後、2005年に国際柔道連盟インターナショナル審判員資格を取得し、世界柔道団体選手権、アジア選手権、ヨーロッパオープンなど多数の国際大会に参加。2017年には全日本柔道選手権で女性初の審判員を務め、同年、スポーツ庁長官奨励を受けた。

柔道女子
元日本代表コーチ



しょうた ひでかず
生田 秀和 准教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

柔道部男子監督。筑波大学、ALSOKで選手、コーチを務め、2013年から全日本柔道連盟ジュニア強化コーチに。その後シニアも兼務し、アジア大会など国際大会で指導。男子を指導してきたが、2021～2024年、柔道女子日本代表コーチを務めた。

バスケットボール男子
元U22日本代表ヘッドコーチ



ひが やすし
比嘉 靖 准教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

バスケットボール部男子監督。本学卒業後、松下電器のポイントガードとして日本リーグ新人王。大阪エヴェッサコーチとしてbjリーグ3連覇。ユニバーシアードは2大会出場。2018年から2年間、U22ヘッドコーチ。

バレーボール女子
2019ユニバーシティゲームズ日本代表コーチ



ながえ あきお
長江 晃生 准教授

スポーツ科学部

スポーツ科学科
スポーツ教育コース

バレーボール部女子監督。本学卒業後はVリーグ(現SVリーグ)でプレー。2010年には日本代表としてアジア大会で優勝。2019年からはユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード)女子チーム(イタリア大会3位)でコーチを務めた。

ボッチャ
元日本代表コーチ



そね ゆうじ
曾根 裕二 准教授

教育学部

教育学科

アダプテッド・スポーツ部監督。長年ボッチャの指導に取り組み、2014年のアジアパラ競技大会から日本代表コーチを務めた。2022年12月、同部で指導する内田峻介選手(当時教育学部2年)が世界選手権BC4クラスで初優勝。日本ボッチャ協会強化本部長。

パラ水泳
日本代表コーチ



はまがみ ようへい
浜上 洋平 准教授

教育学部

教育学科

水上競技部女子監督。選手として筑波大学時代、日本短水路選手権200m個人メドレー8位。帝京大学で6年間監督を務め、2019年4月、本学に赴任し、ヘッドコーチ、監督。パラ水泳日本代表コーチを務める。同部で指導する宇津木美都選手(当時教育学部3年)は2023年アジアパラ競技大会で銀メダル4個獲得。

侍ジャパン(野球日本代表)
女子コーチ



よこい みつはる
横井 光治 准教授

教育学部

教育学科

硬式野球部女子監督。2024年WBSC女子野球W杯ファイナルステージで日本代表コーチとして、7連覇。本学の白石美優選手(当時体育学部4年)がMVP・首位打者に。2025年アジアカップでもコーチとして4連覇。本学から5選手が代表入りし、柏崎咲和投手がMVP、畑中ゆりあ選手が首位打者に。同部では、2021年全日本インカレで初優勝を果たした。